

成田っ子 通信

～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R 3.12.22 No.20

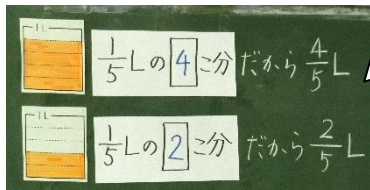
文責 新井麻起

本校では学校研究課題を「個別最適な学び」と「共同的な学び」の一体化を目指した授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践～とし、「一人2回」を合い言葉に校内の研究授業を行っています。今回は 清水 洋子 教諭の 算数 の授業です。

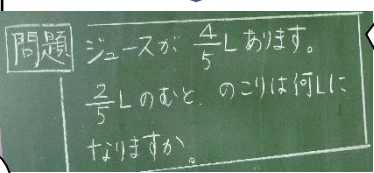
教科：算数 単元名「分数を使った大きさの表し方を調べよう」 清水 洋子 教諭

【問題の提示】

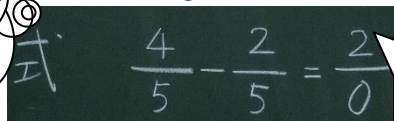
本時は、分数の表し方と仕組みに着目し、同分母の分数の減法の計算方法を考え、説明することができるようにする授業である。



これまで学習した分数の復習をする。

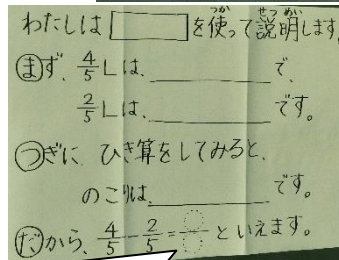
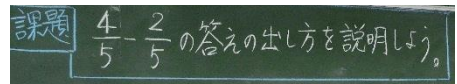


問題：ジュースが $\frac{4}{5}$ L あります。 $\frac{2}{5}$ L 飲むと残りは何 L になりますか。



ここでわざと間違った答えを出す。

【課題の提示と話型を使った説明方法】

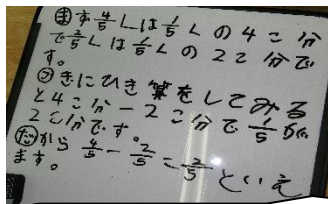


話型を使い、根拠をもって説明をし、先生の答えが間違っていることを証明する。話型：わたしは□を使って説明します。まず $\frac{4}{5}$ L は○で、 $\frac{2}{5}$ L は○です。つぎにひき算をしてみると、のこりは○です。だから $\frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$ と言えます。

自力解決するとき、3つのやり方から選べるようにする。①1L ます一つのもの②1L ます3つのもの③数直線。

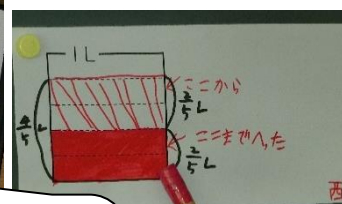
答えをわざと間違え、子供の意欲を出させている。

【話型を使った計算の説明】

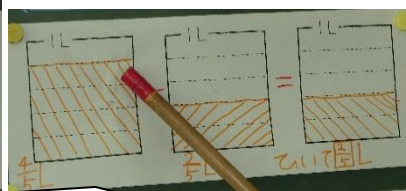


代表の児童が解き方の説明をホワイトボードに書く C: まず $\frac{4}{5}$ L は $\frac{1}{5}$ L が 4 個分で $\frac{2}{5}$ L は $\frac{1}{5}$ L の 2 個分。つぎに引き算をしてみると 4 個分 - 2 個分 = 2 個分で $\frac{1}{5}$ L が 2 個分です。だから $\frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$ で答えは $\frac{2}{5}$ L です。

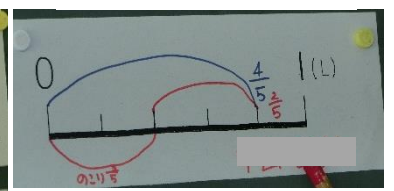
【ビーカー一つでの説明】



【ビーカー3つでの説明】



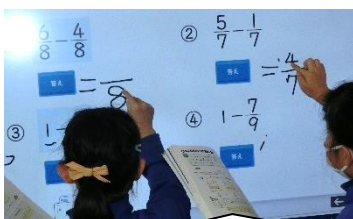
【数直線での説明】



C: まずジュースが $\frac{4}{5}$ 入っています。つぎに $\frac{2}{5}$ 飲むと残りは $\frac{2}{5}$ になります。だから $\frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$ です。児童は自分で選んだ方法で、説明していきます。

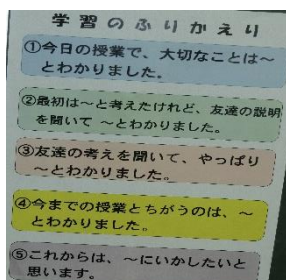
考え方の種類を選ばせることによって、すでに解き方の思考が始まっている。

【確認問題】



確認問題の答えを電子黒板に書き込み、共有している。

【振り返りの話型】

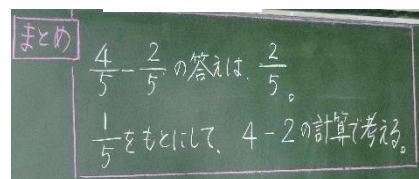


振り返りの話型に沿って振り返りを発言している。C: 分数の足し算と同じで、引き算も分母が同じなら整数の引き算で答えが出せることを学びました。

【振り返りの発表】



【まとめ】



T: $\frac{4}{5} - \frac{2}{5} = \frac{2}{5}$ $\frac{1}{5}$ をもとにして 4-2 の計算で考える。

